

平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 竹本容器株式会社

コード番号 4248

URL <http://www.takemotokk.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 竹本 笑子

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部門統括 兼 経営企画室長 (氏名) 戸田 琢哉 (TEL) 03(3845)6107

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 平成29年9月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (国内機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	6,970	8.0	713	△3.7	717	△4.2	500	4.3
28年12月期第2四半期	6,455	8.2	740	16.6	748	15.7	479	10.3

(注) 包括利益 29年12月期第2四半期 456百万円( -%) 28年12月期第2四半期 △4百万円( -%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	87.41	87.25
28年12月期第2四半期	84.45	84.44

四半期連結経営成績に関する注記

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第2四半期	14,138	7,316	51.6
28年12月期	12,646	6,001	47.4

(参考) 自己資本 29年12月期第2四半期 7,299百万円 28年12月期 5,991百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	14.00	—	16.00	30.00
29年12月期	—	16.00			
29年12月期(予想)			—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	13,218	3.3	1,252	△0.5	1,264	△1.2	870	4.0
								145.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※1株当たり当期純利益は、平成29年6月16日に実施した公募増資500,000株及び平成29年6月28日に実施した第三者割当増資82,000株を含めた予定期中平均株式数により算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期2Q	6,264,200株	28年12月期	5,682,200株
② 期末自己株式数	29年12月期2Q	40株	28年12月期	40株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期2Q	5,724,955株	28年12月期2Q	5,682,160株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(追加情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成29年1月1日～平成29年6月30日）におけるわが国経済は、政府による継続的な経済対策のもと、雇用環境の改善を伴う景気回復基調を辿りました。一方、世界経済は欧米における政治的前提条件の変化ならびに中東、東アジアにおける地政学的なリスクの高まりにより先行き不透明感が払拭されない状況が継続しております。

このような状況において、当社グループは開発提案型ボトルパッケージングメーカーとして自社で容器の企画、設計を行い、容器を製造するための金型を自社で保有している、いわゆるスタンダードボトルを軸としてお客様が必要とする容器を必要な数だけ提供する営業活動、並びにお客様が金型投資を行うカスタムボトルの分野では当社スタンダードボトルの開発実績を生かした提案活動を積極的に展開いたしました。海外市場では、一昨年に設立したオランダ子会社による欧州市場の開拓にとどまらず、既存の拠点が所在する中国、米国、タイにおいても同様にスタンダードボトルビジネスを軸とした営業活動を展開しております。さらに、昨年子会社を設立したインドにおいては、新工場の建設に着手したほか、デリー近郊に拠点を設置し、本格的な営業活動を開始する準備を進めております。

また、製品開発・供給面では平成29年6月末のスタンダードボトル用金型を3,160型として当社グループが提供可能な製品ラインナップを拡充しております。昨年稼働を開始した、弊社結城事業所の印刷棟、岡山事業所も生産機械の増強、稼働率の向上により、生産能力の増強を実現しております。

このような施策の結果、従来から提供を継続している既存顧客の業績が引き続き好調であったことも大きく貢献し、当第2四半期連結累計期間の売上高は69億70百万円（前年同期比8.0%増）、営業利益は7億13百万円（前年同期比3.7%減）、経常利益は7億17百万円（前年同期比4.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億円（前年同期比4.3%増）となりました。

なお、当社グループは、容器事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間における資産、負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりです。

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して14億92百万円増加の141億38百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して11億25百万円増加の67億86百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金が9億4百万円、受取手形及び売掛金が2億31百万円増加したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して3億66百万円増加の73億51百万円となりました。主な変動要因は、機械装置及び運搬具（純額）が1億53百万円、無形固定資産が2億5百万円増加したことによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して4億38百万円増加の41億40百万円となりました。主な変動要因は、支払手形及び買掛金が2億67百万円、「その他」のうち、未払金が95百万円、設備支払手形が47百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して2億60百万円減少の26億81百万円となりました。主な変動要因は、長期借入金が2億67百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して13億14百万円増加の73億16百万円となりました。主な変動要因は、平成29年6月に公募増資等を実施したことにより、資本金が4億71百万円、資本剰余金が4億71百万円増加したこと、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金が5億円増加、剰余金の配当が90百万円あったこと及び為替換算調整勘定が44百万円減少したことによるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の四半期末残高は、前連結会計年度末に比べて9億4百万円増加し、26億3百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、12億59百万円(前年同期は9億8百万円の獲得)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益7億14百万円、減価償却費4億62百万円及び仕入債務の増加額2億72百万円であり、支出の主な内訳は、売上債権の増加額2億41百万円、法人税等の支払額1億87百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、8億76百万円(前年同期は15億20百万円の使用)となりました。支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出6億61百万円及び無形固定資産の取得による支出2億18百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、5億27百万円(前年同期は8億96百万円の獲得)となりました。収入の主な内訳は、株式の発行による収入9億29百万円であり、支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出3億10百万円、配当金の支払90百万円であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期通期の連結業績予想につきましては、平成29年2月10日に公表いたしました連結業績予想の数値に変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,699,101	2,603,747
受取手形及び売掛金	2,716,787	2,948,480
商品及び製品	862,772	825,805
仕掛品	30,799	44,095
原材料及び貯蔵品	181,296	214,335
その他	171,577	150,967
貸倒引当金	△935	△480
流動資産合計	5,661,400	6,786,950
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,320,244	3,267,158
機械装置及び運搬具(純額)	1,472,895	1,626,779
その他(純額)	1,699,215	1,760,271
有形固定資産合計	6,492,355	6,654,208
無形固定資産		
	249,740	455,538
投資その他の資産		
その他	243,446	242,549
貸倒引当金	△548	△423
投資その他の資産合計	242,897	242,125
固定資産合計	6,984,993	7,351,873
資産合計	12,646,394	14,138,823

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,009,347	2,277,266
1年内返済予定の長期借入金	567,791	524,186
未払法人税等	204,893	223,865
資産除去債務	—	2,736
その他	920,529	1,112,589
流動負債合計	3,702,562	4,140,643
固定負債		
長期借入金	2,682,402	2,415,124
退職給付に係る負債	255,156	264,610
資産除去債務	4,895	2,190
固定負債合計	2,942,454	2,681,924
負債合計	6,645,016	6,822,568
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	332,059	803,144
資本剰余金	558,860	1,029,945
利益剰余金	4,735,429	5,144,935
自己株式	△87	△87
株主資本合計	5,626,261	6,977,938
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,911	2,065
為替換算調整勘定	381,118	336,229
退職給付に係る調整累計額	△18,237	△17,180
その他の包括利益累計額合計	364,792	321,114
新株予約権	10,323	17,202
純資産合計	6,001,378	7,316,255
負債純資産合計	12,646,394	14,138,823

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	6,455,278	6,970,177
売上原価	4,454,869	4,873,471
売上総利益	2,000,408	2,096,706
販売費及び一般管理費	1,260,200	1,383,661
営業利益	740,208	713,045
営業外収益		
受取利息	2,489	3,871
受取配当金	144	144
為替差益	—	1,602
助成金収入	12,646	6,060
その他	10,338	14,064
営業外収益合計	25,618	25,743
営業外費用		
株式交付費	—	12,686
支払利息	8,009	8,545
為替差損	7,778	—
その他	1,662	384
営業外費用合計	17,450	21,616
経常利益	748,377	717,171
特別損失		
固定資産売却損	70	783
固定資産除却損	22,379	2,384
減損損失	9,029	—
特別損失合計	31,480	3,167
税金等調整前四半期純利益	716,897	714,004
法人税、住民税及び事業税	244,195	200,979
法人税等調整額	△7,138	12,604
法人税等合計	237,056	213,583
四半期純利益	479,840	500,420
親会社株主に帰属する四半期純利益	479,840	500,420



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	479,840	500,420
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△445	154
為替換算調整勘定	△484,530	△44,888
退職給付に係る調整額	391	1,056
その他の包括利益合計	△484,584	△43,678
四半期包括利益	△4,743	456,742
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,743	456,742

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	716,897	714,004
減価償却費	375,933	462,597
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	11,336	10,976
減損損失	9,029	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	215	△580
受取利息及び受取配当金	△2,633	△4,015
支払利息	8,009	8,545
株式交付費	—	12,686
為替差損益(△は益)	6,948	△2,851
助成金収入	△12,646	△6,060
固定資産売却損益(△は益)	70	783
固定資産除却損	22,379	2,384
売上債権の増減額(△は増加)	△84,648	△241,200
たな卸資産の増減額(△は増加)	△64,145	△15,095
仕入債務の増減額(△は減少)	163,553	272,175
その他	46,367	138,176
小計	1,196,668	1,352,524
利息及び配当金の受取額	2,538	3,915
利息の支払額	△8,785	△8,862
助成金の受取額	7,493	99,554
法人税等の支払額	△289,097	△187,743
営業活動によるキャッシュ・フロー	908,816	1,259,388
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,442,312	△661,632
無形固定資産の取得による支出	△74,071	△218,900
その他	△3,759	4,444
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,520,143	△876,088
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	150,000	—
長期借入れによる収入	1,160,000	—
長期借入金の返済による支出	△321,852	△310,883
株式の発行による収入	—	929,484
配当金の支払額	△90,914	△90,914
その他	△513	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	896,720	527,686
現金及び現金同等物に係る換算差額	△98,383	△6,340
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	187,008	904,645
現金及び現金同等物の期首残高	1,369,017	1,699,101
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,556,026	2,603,747

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年6月16日を払込期日とする公募増資及び平成29年6月28日を払込期日とする第三者割当増資を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、資本金が471,085千円、資本剰余金が471,085千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が803,144千円、資本剰余金が1,029,945千円となっております。

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。